

第8回 桐の響を楽しむ演奏会 出演者



木野雅之 violin

桐朋学園、ロンドンのギルドホール音楽院に学ぶ。イフラ・ニーマン、ナタン・ミルシュタイン、ルツジェーロ・リッチ、イヴリー・ギトリス等に師事。ロドルフォ・リピツァー、カール・フレッシュ、リッチ、パーム・ビーチ等多数のコンクールで優勝。メニューインコンクールでサロン音楽特別賞、ロイヤルオーケストラ協会シルバーメダルを授与。ロイヤル・フィル、ベルリン響、ポーランド国立放送響、モスクワ放送響、ロンドン・モーツァルト管等と共演。国際音楽祭への参加も多く、多数のCD、DVDが好評発売中。現在、日本フィル、ソロ・コンサートマスター、東京音大教授、桐朋学園、武蔵野音大講師、インドネシアパダンパンジャン国立芸術院客員教授、日本弦楽指導者協会顧問、球磨川、スコットランドDG地球救援、こうのとりのみおつくしの各音楽祭監督。使用楽器は恩師ルツジェーロ・リッチから譲り受けた1776年製口レンツォ・ストリオーニ。

《木野雅之オフィシャルサイト <http://eknowhowinc.juno.weblife.me/masakino2/>》



小川剛一郎 cello

関西交響楽団(現在大阪フィル)首席チェロ奏者であった祖父伊達三郎に9歳からチェロの技を受け、10歳から井上頼豊氏に師事する。桐朋学園高校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部をそれぞれ首席で卒業。チェロを井上頼豊、ダニール・シャフランの両教授に師事。同大学研究科を修了後、パリ・エコール・ノルマル音楽院に留学し、チェロをレーヌ・フラショー教授に、室内楽をジュヌヴィエーヴ・ジョワ教授(H.デュティエユ夫人)に師事。'84年同音学院最高演奏家資格を得て卒業。'87年第56回日本音楽コンクールチェロ部門第3位入賞。'93年よりトリオ・ミンストレルを結成。毎年全国ツアーを展開し、好評を博している。ソリスト、及び室内楽奏者として活躍する傍ら昭和音楽大学附属音楽教室、表参道カワイ音楽教室、岐阜サロン・ドルチェ、大阪、つくばで後進の指導にも力を注いでいる。



北住 淳 piano

三重県立津高等学校、東京芸術大学音楽学部ピアノ科卒業後、1983年から85年、1995年から96年の二度にわたりハンガリー国立リスト音楽院に留学する。第1回マルサラ国際コンクール、第36回ヴィオッティ国際コンクールにてディプロム受賞。1986年から演奏活動をはじめ、1992年津市文化奨励賞、2004年に三重県文化奨励賞、2017年名古屋市芸術奨励賞を受賞。八重口敬子、福井直俊、伊達純、ペーター・ショイモシュ、宇都宮淑子の各氏に師事。ソリストとして、また室内楽や声楽、合唱ピアニストとしても支持を集め、近・現代の作品、室内楽作品に数多く取り組み幅広い演奏活動を行っている。1989年愛知県立芸術大学大学院音楽研究科修了後は同大学にて後進の指導にあたり、1993年より音楽学部専任講師、2001年より助教授→准教授、2011年より教授を務める(2025年3月定年退官)。大阪大学、京都大学、神戸大学等でレクチャーコンサートに出演。他に全国各地でレッスン講師、オーディション審査員等を務める。



小川茂子 soprano

名古屋市菊里高校音楽科を経て、桐朋学園大学卒業。同大学研究科2年修了。1991年イタリア ミラノ留学。東京・岐阜にてソロリサイタル開催。主なオペラ出演は、秋山和慶指揮、オペラ「アルバートヘリング」ヘリング夫人役、外山雄三指揮、オペラ「カルメル会修道女の対話」ジャンヌ役。2001年、ワシントンD.C.にて、「ワシントン桜まつり岐阜イベント」「日本の歌」公演にソリストとして出演。2006年度山県市芸術文化奨励賞受賞。2008年にCD『里山からの贈りもの〜子どもたちへ〜』をリリース。日本の心を歌い継ぐ重要な活動として高い評価を得る。東海第二幼稚園非常勤講師。東京二期会会員。岐阜市在住。



佐部利弦 piano

岐阜市出身。第42回全日本学生音楽コンクール名古屋大会中学生の部、第1位。桐朋女子高等学校(男女共学)を経て桐朋学園大学音楽科卒業。第9回日本モーツァルト・コンクールピアノ部門、第3位。ハンガリー国立リスト音楽院留学。ロッソマンディ国際ピアノコンクール(イタリア)特別賞受賞。2006年、真鍋記念館クララザールにて帰国記念リサイタル開催。これまでに、松波久美子、宮田俊雄、佐野翠、故松岡貞子、A・ケメネシュの各氏に師事。現在ソロ活動、室内楽奏者としての活動、また後進の指導にも力を入れている。椋山女子学園大学、岡崎女子大学非常勤講師。2014年岐阜県芸術文化奨励賞、2019年岐阜市教育委員会賞受賞。岐阜市在住。